

2024.06.13. 木曜礼拝「神はあなたの人生の獅子の口を塞がれる」

ダニエル 6 章

JD ファラグ牧師

アーメン。一緒に、頭を下げ祈りましょう。天のお父様、あなたはどれほど偉大であられるか。主よ、今週の半ばに来ることができるこの時間を心から感謝します。御言葉を通して、自分のバッテリーを充電するのです。共に過ごすこの時間を祝福し、今夜、JD 牧師が届けるあなたの御言葉を私たちが理解できるよう助けて下さい。改めて、この時間を本当にありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。こんばんは。ようこそ。今夜の調子はどう？ 会衆：いいです！ おお、いいですね。すごく説得力があったよ。受け取っておきます。どうぞご着席ください。ようこそ。来てくださって嬉しいです。オンラインの皆さん、ご一緒できてうれしいです。私たちは、この素晴らしい「ダニエル書」を学び進めています。今夜、主の御心なら、6 章を学び終えます。これが中間点です。6 章で、私が歴史的と呼ぶものは終わります。来週、主の御心なら、そして、“私たちがまだここにいるなら”(合唱) おお、皆さん、大好きですよ。主の御心なら、来週は 7 章で、歴史的内容から、預言的内容へ変わります。7 章からダニエルは、まだ自分にとって未来の具体的な預言的出来事のビジョンを受け始め、それは、ヨハネにとって、ほとんどが過去のことだった「黙示録」の預言と一致します。ですから、ダニエルのビジョンがあって、、、これって、実に来週の聖書の学びを今夜教えていますけど、それが 7 章です。だから、私はそれを言っているんだから、皆さん、来週 7 章を学びに来なきゃいけませんよ。というのも、今後学ぶのは、本当に驚くべき預言、まさにぶっ飛びますから。それで今夜は、6 章ですけど、この章には多くのことが詰まっています、またしても、とても有名な章のひとつである良い理由です。おもに、ダニエルが嫉妬深い敵にハマられて、投げ込まれた獅子の巣穴の中で、獅子の口が奇跡的に塞がれたこと。そう、今夜は本当に祝福されるでしょう。この章を楽しみにしていました。教えるすべての章についてそう言ってますか？ まあ、これは特に。なぜなら、多くの教訓があるからです。でも、特に際立っているのは、『私の人生を食い尽くそうとするすべての獅子の口を神は、塞いでくださる』です。

では、祈って始める前に、先週の箇所の内容を簡単にお伝えしたいと思います。ここにいた方、バビロン崩壊を見ましたね。なんと凄いことでしょう。ここにいなかった方、バビロン崩壊を見逃しましたよ。それが 5 章でした。そうして、時が経ちました。そんな長い期間ではありません。これからメド・ペルシャ帝国の王、ダレイオスが登場します。ダリウスと発音する人もいます。よろしければ私は、ダレイオスと発音します。その方が好きなんです。彼の治世はわずか 2 年でした。先週、5 章の最後で、彼は 62 歳で亡くなったと聞きました。私にとってとても厄介です。私は今年 62 歳になりますから。深読みしようとは思いませんけど、それは私の人生には、聖典的には当てはまらないと確信します。ですから、彼が君臨できるのは 2 年間だけです。ダレイオスはメディア人の王で、そして、彼がバトンを渡すのは、ペルシャ人の王、キュロスです。何が興味深いかというと、ちょっと余談ですけど、考えてみればダニエルは忠実に仕えてきています。バビロンの王ネブカドネツアルに始まり、これらすべての王たちの寵愛を受けました。不在だった父親は、バビロン王国を息子に、ダニエルが忠実に仕えたネブカドネツアルの孫のベルシャツアルに譲りました。ベルシャツアルは先週、死にました。先週おられなかった方、知らないでしょう？ ですから、バビロンが陥落し、即座にバビロン王国はメド・ペルシャ帝国に占領されました。まさに、ダニエルを通して神がそうなると預言された通りです。で、今夜取り上げるのは、このダレイオス王の下でのメド・ペルシャの治世の始まりです。それが私たちのために記されていて、非常に興味深い章です。ダニエル書 6 章で、神が私たちにくださるものを見逃さないよう祈ってほしいと思います。では始める前に祈りましょう。

主よ、心から感謝します。この章には、今夜あなたが私たちのためにご用意してくださったものがたくさんあるのを知っています。それは、私たちの人生に具体的に、また幾人かには個人的にも当てはまるかもしれません。ですから、私たちはこの章から富を掘り起こし、この章からあなたが私たちにくださるすべてのものを得たいのです。主よ、この魅力的な章を通して私たちの人生に語りかけてください。この章に記されている詳細のいくつかは、私たちが今生きているこの世、狂っていて、さらに狂っていつている世で、多くの人々が人生で経験していることに大きく関わっています。主よ、私たちは大きな期待を持って、あなたを仰ぎます。あなたが私たちに仰りたいことを聞く耳を持たせ、見る目を持たせてください。今夜、この聖書の

学びが終わったとき、あなたが私たちのためにご用意されているものを、そこから持って帰れますように。それを今夜していただだけませんか？ 特に、本当に苦しんでいて、あなたの御言葉から励ましを必要としている人たちに。ですから主よ、語って下さい。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

では、準備はいいですか？ 始めましょう。1節、

ーダニエル 6：1ー

ダレイオスは、全国に任地を持つ百二十人の太守を任命して国を治めさせるのがよいと思った。

留意ください。バビロンは極めて巨大です。巨大。彼らは王子、総裁、監督のようなもので、彼らは管理することになっていました。彼らは全国を監督するのです。

ーダニエル 6：2ー

彼はまた、彼ら（120人）の上にダニエルを含む三人の大臣を置いた。これは、太守たちがこの三人に報告を行い、王が損害を被らないようにするためであった。

ーダニエル 6：3ー

さて、このダニエルは、（驚くことなかれ）ほかの大臣や太守よりも際立って秀でていた。・・・

（なぜなら）

・・・彼のうちにすぐれた霊が宿っていたからであった。・・・

（すぐれた霊は、聖霊です。）そして、この“すぐれた”という言葉を読んだら読み過ぎて、この言葉の意味を見落とさないようにしましょう。抜き出す、秀でた、傑出した、そして、その素晴らしさが際立ち、それは、彼の中にある卓越した霊特有のもので、私がそれを強調する理由は、人によって、表情や態度、気質が変わることがあるのはご存知でしょう。彼らには他とは違う、傑出した何かがある。際立っている。ちなみに、“outstanding”は「傑出した」という意味ですよ。意味深なのは分かっていますが、“際立っている。”

「ダニエル、君は格が違う。君は他の誰よりも際立っている。非常にそうで、君はあらゆる面で彼らを上回っている。その理由は、君には聖霊が宿っているからだ。だから、私たちが君の中に見るこの卓越性は、君の中にある聖霊の故だ。」私は、聖霊が私たちの生活の中で他の人々に、明らかになることが大好きです。人々が聖霊の実、聖霊の卓越性を目にする時、「愛」「喜び」「主の喜び」それが聖霊です。そう、本当に際立った人と話しているとき、そのことが際立ちませんか？ つまり、彼らが優れた喜びの霊を持っていると、時にはそうなってしまいます。聖霊が彼らの中におられ、彼らを満たし、新鮮で新しいバプテスマを受けられ、彼らはただその喜びを振りまいている。それはこんにちのこの世で際立ちませんか？ 今、クリスチャンについて話しているのですよ。何人かの人は不機嫌で、喜びがない。ええ、人生には悲嘆に暮れたり、傷ついたり、苦しんだり、喜びを感じたりする季節があります。ヤコブ（1：2）は、「様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」というけど。翻訳に何かミスがあったのかと翻訳の過程で何か失われたのかと不思議に思います。だって、マジ？ 試練にあう時、私はそれを喜びと考える？ いや、試練にあう時、純粹に地獄だと思う。つまり、十分達成可能です。そうなれます。人生でこのような困難な試練にあっても、喜びを持つことは可能です。でも、そういう時期もあります。日の下には何にでも季節があります。だから、そういう話じゃなくて、私が言いたいのは、あなたに生み出せない本物の喜びがあるということ。そうでないと、プラスチックの偽物の果物のようなものだから。いいえ、これは本物の聖霊の実です。そして、誰かが喜びを持っているとき、それがとても際立って魅力的で、リストをあげられますよ。よければ、私たちもそうしましょう。私は既に缶の蓋を開けてしまいました。「愛」「喜び」「平安」みんなが混乱と、混乱の中にいるのに、人はあなたを見て、「どうしたの？ あなたは他のみんなとは違う。他のみんなはパニックになっているのに、あなたはワクワクしているよう。あなたは喜びにあふれ、喜びに満ちている。平安もある。あなたはとても愛情深く、とても優しい。あなたはとても・・・これは私には難しいです。告白します。・・・あなたはとても忍耐強い。」それもその一つだから。リストになればよかったのに。（ガラテヤ 5：22，23参照）あなたには、卓越した人生と聖霊が支配なさる霊がある。自制も

(その一つ) ですから。それともう一つあります。非常に稀ですが、それは「柔和さ」と呼びます。謙遜。そう、それは際立ちます。溢れる驕りはよく見かけます。探さずとも見つかります。私に見つかります。どうもありがとう。でも謙遜は、それはまた別の話ですね。ですから、そういうことです。このダニエルは際立っていた。ダレイオス王が他の誰よりもダニエルに誰しをも治めさせさせたのはそのためです。No. 2です。ファラオのヨセフのように。ファラオの前には、ポティファルがヨセフにすべてを管理させました。そうすれば、何の心配もない。なぜなら、彼はヨセフの誠実さと卓越性を信頼していたから。そして、間違っ
てはいけません。ダレイオスはここで新人です。あるいは、こう言った方が良いでしょう。王国の新しい王。でも皆さん知るべきは、王はこのダニエルのことを知っているのです。そう、王は聞いていた。王が説明を受けたことは確かです。「ダレイオスよ、あなたが王です。これから治める王国へようこそ。この巨大なバビロン王国へ。あなたにも何人かしもべはいるでしょう。でも何人かはすでにここにいる者をあなたは使いたいでしょうね。なぜなら、彼らはすでにこの辺りの仕組みを知っているから。しかし、あなたが知るべきナンバーワンの男は、・・・」

私はそれが大好きです。ヘブライ語の名前だから。ネブカドネツアル王が名付けたカルデア名ベルテシャツアルではなく、ダニエルに戻っているからです。どうもありがとう。彼のうちにすぐれた霊が、聖霊が宿っていたからです。(一ダニエル 6:3)

・・・そこで王は、彼を任命して全国を治めさせようと思った。

この3節を読んで、ここがこれから私たちが目にするすべての舞台を設定しています。警告しておきますが、醜いことになります。どうやら、ダニエルと一緒にいた大臣たちは、ダレイオスがダニエルを自分たちのボスにしようとしていることを聞いたようで、「お前が私のボスじゃない。」ある人がこう言うのを聞きました。「私は何者でもない。あなたがボスなら、あなたは何者でもないボスだ。」ははは。それを入れておきます。他の大臣たちは、この大臣たちだけでなく、2~3人、ダニエルはそのうちの1人でしたが、120人の太守たちがいました。(satrap: 発音はお好きなように) 名前だけですべてがわかります。それは罫です。彼らは、君主たちです。120の州を統括する長官です。どうやら彼らは、この噂を聞き、あまり喜んでいないようです。4節、

一ダニエル 6:4

大臣や太守たちは、国政についてダニエルを訴える口実を見つけようとしたが、・・・

大きな問題です。

・・・何の口実も欠点も見つけられなかった。・・・

それはダニエルに罪がなく非難されることのない人生を生きただけからです。何の口実も欠点も見つけられなかった。ダニエルは正しかったのです。理由はこうです。

・・・何の口実も欠点も見つけられなかった。彼は忠実で、何の怠慢も欠点も見つからなかったのである。

5節は非常に興味深いです。

一ダニエル 6:5

そこでこの人たちは言った。・・・

ダニエルに対して企んでいます。ダニエルは的、標的。ダニエルが1番の敵なのは、ダニエルが彼らの上に立ち、彼らの望む地位に就こうとしているからです。そ、嫉妬と羨望から、彼らは何かをしなければなりません。ダニエルが自分たちの上に立つことを望みません。ダニエルについて何かを見つけねばなりません。で、私立探偵を雇い、ネット検索で身元調査しますが、何も結果が出ません。ですから、彼らは、どう言います? 陰謀を企てる。(Hatch a plot.) 囁みそうでした。(Platch a hot.)

一ダニエル 6:5

そこでこの人たちは言った。「われわれはこのダニエルを訴えるための、いかなる口実も見つけれない。彼の神の律法のことで見つけるしかない。」

願わくは、誰もが、私たちに敵対する唯一は、神への奉仕における私たちの忠実さと従順さだけです。それが私を咎めることができる全てなら、有罪です。有罪です。ダニエルを捕まえる唯一の方法が、どうにかして、彼を畏にかけることができれば、言いましたね。彼らの畏。「我々は、ダニエルを畏にかけ、ハメられるのは、彼の敬虔さだ。ダニエルは神に忠実に仕え、神に従順で敬虔な人だから。神が聖であるように、彼は聖だ。だから、我々は何か考えねばならない。創造的に。」で、6節です。彼らはある案を思いつき、陰謀を企てました。正しいかどうか確認しないと。

ーダニエル 6：6ー

それでこの大臣と太守たちは、王のもとに押しかけて来て、・・・

彼らは熱くなって群れでやってきます。攻撃的で、切迫しています。

・・・こう言った。「ダレイオス王よ、永遠に生きられますように。」

それはもう本当に古いですね。要点は、、、7節の最初の言葉で、要点がわかります。

ーダニエル 6：7ー

王よ。国中の大臣、長官、太守、顧問、総督はみな、王が一つの法令を制定し、断固たる禁令を出していただくことに同意しました。すなわち今から三十日間、王よ、いかなる神にでも人にでも、あなた以外に祈願をする者は、だれでも獅子の穴に投げ込まれる、と。

OK。ちょっと待って。あなたは嘘つきです。あなたは嘘つきです。あなたは嘘つきです。全ての高官たちではありません。ダニエルはそのうちの1人じゃありませんか？ ダニエルへ、あなたが陰謀を企んでいるのです。初っ端から、国中の全ての長官たちが集まったと言うのですか？ それは嘘です。あなたは嘘つきだとわかります。響きも良く、気持ち良いんです。こういう時、あなたは嘘つきだ。嘘つきだ。ー（笑）ー彼らがここで何をしているかわかりますね？ 彼らはダニエルを畏にハメようとしています、ダレイオスに媚びています。「ダレイオス王よ、私たち皆が一致します。あなたを守り、この国の地方を統括する特権と名誉を私たちに課したからです。それとともに、あなたは王として統治し、私たちはあなたを守るためにここにいます。私たちの考えは、その最善の方法は、この固い撤回できない勅令を出すこと。あなた以外に、神あるいは人に祈る者は誰でも、だれでも獅子の穴に投げ込まれる、と。」（ダニエル 6：7参照）

ーダニエル 6：8ー

王よ、今、・・・

強引な売り込みが始まります。彼らは勅令に、王に署名させたいのです。

・・・王よ、今、その禁令を制定し、変更されることのないようにその文書に（ここに）署名し、・・・

ここに署名してください。ここに署名するだけです。「まず読もう。」いえ、ここに署名するだけです。

・・・その文書に署名し、

これが鍵です。

・・・取り消しのできないメディアとペルシアの法律としてください。」

言い換えると、これに署名すると、取り消し不可。これで決まりです。変えることはできない。我々は自分たちの法律に従ってそれを変えることはできない。9節、悲しいかな、

ーダニエル 6：9ー

そこで、ダレイオス王はその禁令の文書に署名した。

信じやすく、無邪気に。すぐに後悔して王は気付きます。10節です。大変興味深い。神の御言葉の中の詳細が大好きです。

ーダニエル 6：10ー

ダニエルは、その文書に署名されたことを知って・・・

待って。何だって？ どうやってそれを知ったのか？ ダニエルは知っていました。私の提案は推論なのはわかりますが、理にかなっていません。価値があると思うので、最後まで聞いてください。念のために言いますが、ダニエルは80代半ばから後半です。経験豊富な老練者で、抜かりありません。聖霊と優れた御霊に伴うのは、神から与えられた知恵と知識だからです。彼らが王に近づく前から知っていたのだと思います。ダニエルはすでにわかっていました。彼らが夕食に招かれた時、ダニエルと共に他の2人の大臣は、ダニエルを決して招待しませんでした。彼らはダニエルに嫉妬していました。彼らは、、、もう1回だけ言っていいですか？ ダニエルに対して陰謀を企てました。ダニエルがそれを察知したと思いませんか？ ダニエルは賢い男です。すでにわかっていたようです。ですから、たぶん、何となく、ダニエルを心から愛し、彼の背中を見守り、間違いなくダニエルに知らせる誰かが内部にいることもわかります。「ダニエルよ、愚かにも、王は署名した。」ダニエルは、ダレイオスが署名したことを知って、家に帰り、顔を伏せて赤ん坊のように泣いたのか？ いいえ。

・・・自分の家に帰った。その屋上の部屋はエルサレムの方角に窓が開いていた。

それは、ソロモンに関係し、「箴言」だと思いますが、ユダヤ人が自分たちの土地にいない時は、エルサレムに向かって祈りました。小さなことへの従順について話しています。ダニエルはエルサレムにいないからです。ダニエルはバビロンの捕虜です。今、メディアとペルシアによって支配されています。それでも、ダニエルは祈りに忠実です。そこでダニエルは、毎日彼がするように窓を開け、エルサレムに向かって。特注の良い家で建てたに違いありません。建築家の設計士にこう伝えました。「ここに窓が必要です。それは私の祈りの窓です。」私は祈りの窓がありますよ。このこと言いましたか？ それって変ですか？ いえ、理由は、私はよくひざまずきましたけど、歳をとると、起き上がれるかどうか自信がありません。まったく、ましてやすぐになんて。ですから、それから、ひざまずく時、、、この話、止めた方がいいですね。理由は、言うべきことがあります。神のためにひざまずく必要はありません。「おお、あなたはひざまずいていない。では、わざわざ祈ることはない。」いいえ、むしろ私たちのためです。あなたが謙虚な姿勢で、主の御前にひざまずき、顔を伏せ、主に向かって叫ぶ時、それは主のためというより、あなたのためです。ひざまずいていない時でも、神は祈りを聞いてくださるのか？ もちろんです。まず第一に、ひざまずいていない時の方が、ずっと長く祈っていることに気づきます。膝をついているときは、非常に短い祈りだからです。実際、祈りが変えられます。「主よ、ひざまずいて祈ることでの私の膝の痛みを取り除いてください。」しかし、私は歩きながら祈ります。なんというか、感覚的というか、そういう言葉がぴったりだからです。この窓から外を眺めて、ただ祈ります。私は空を見上げると、彼らは、その日もまた(アレを)撒いたようで、、、でも、それを見過ごすようにします。それについては、失礼。私はただ主を見上げ、その窓から祈ります。それが私の祈りの窓になります。ダニエルには祈りの窓があり、それはエルサレムに向けられ、ダニエルはひざまずきかめました。私は恥ずかしくなります。ダニエルは80代半ばから後半だからです。私は62歳になるでしょう。ダニエルは若者ではありませんが、彼はひざまずきます。これは驚くべきことです。1日に3回、その日ひざまずきました。ダニエルは祈りました。彼がそのことを非常に祈ったのではなく、彼が祈ったことは、、、さらに興味深いのは、彼が祈らなかったこと。私たちはダニエルがひざまずいて祈ったと聞いています。神から与えられた想像力でそれを思い浮かべることが出来ますか？ ダニエルは基本的に策略が働くのを聞きます。彼らの陰謀はうまくいきました。禁令の文書は署名され、ダニエルが獅子の穴に放り込まれるのは時間の問題だと彼は知っていました。ダニエルはいつもすることをして、祈るだけです。しかし、こう祈りませんでした。「おお、神よ！」そう、私なら完全にこう祈るでしょう。

「おお、神よ、どうしてこれを許すのですか？ どうか私を獅子の穴に投げ込ませないでください。私は老人です。獅子の穴に入れられないよう、私はひざまずきます。立ち上がれるかどうかもわかりません。どうか、神よ。」いいえ、ダニエルはそうしません。ダニエルの祈りは何か？ 嘆願はありません。神に何も求めませんでした。神に全てを感謝します。OK。この力強い節を完全にだめにしたので、読ませてください。ま

だ 10 節です。

ーダニエル 6 : 10ー

ダニエルは、その文書に署名されたことを知って自分の家に帰った。その屋上の部屋はエルサレムの方角に窓が開いていた。彼は以前からしていたように、日に三度ひざまずき、自分の神の前に祈って感謝をささげていた。

訳すと、バビロンに捕虜として来て以来、ずっとそうしてきた。ダニエルは 20 代でした。計算してください。60 年以上、毎日、1 日 3 回、エルサレムに向かって祈っている。わお！！！！ どうりで、ダニエルが神と人の前に好意を得るのも不思議ではありません。国の大臣として任命されるのも不思議ではありません。これらすべての王に。キュロス王に起こることです。ネタバレ注意。彼は、、、ここでポイントです。皆さんに叫ぶのをやめます。自分自身に叫んでいます。すべては祈りです。祈りは、祝福された人生への答えの理由です。ダニエルの人生は祝福された人生だと同意しますか？ 神はこの人を祝福されます。ダニエルが想像し、祈り求めるよりも、はるかに、豊かに。ダニエルは祈りの人でした。御言葉の人でもありました。しかし、神の人でした。11 節、

ーダニエル 6 : 11ー

すると、この者たちが押しかけて来て、ダニエルが神に祈り求め、哀願しているのを見つけた。

畏にかけたと言えませんか？ ここに興味深い詳細です。彼らは王に署名させました。30 日の有効期限。30 日も必要ありません。彼らは 1 日目でダニエルを捕えられるのを知っていました。ダニエルの行動を知っていたからです。想像してみてください。あなたがそこにいます。ダニエルの近くに男たちがいて、再度、ダニエルが祈ります。「うん、あいつは毎日している。」「何をしているんだ?」「自分の家の上の部屋に上がり、どうやら、エルサレムに向かって窓を開け、ダニエルは祈るんだ。1 日に 3 回、これをする。俺たちが休憩時間にトランプをしたり、ランチを食べる時、ダニエルは祈る。俺たちは遊ぶ。ダニエルは祈る。」

彼らはダニエルについてそのことを知っていました。それが、彼らが王にこの禁令を出させた理由です。彼らはただ待っていました。王が署名したばかりの禁令に反し、ダニエルが祈り、請願し、嘆願する日課を。12 節で、彼らはダニエルのところに行きこうは言いませんでした。「捕らえたぞ。一緒に来い。はっは〜」違います。彼らはすぐに王のところへ行きます。12 節、

ーダニエル 6 : 12ー

そこで彼らは王の前に進み出て、王の禁令について言った。・・・

ここで特に注目してほしいのは、彼らがこれをどう言葉で発するか。痛いです。彼らは王にこう言います。

・・・「王よ。王は今から三十日間、いかなる神にでも人にでも、あなた以外に祈願をする者は、だれでも獅子の穴に投げ込まれるという禁令に、署名されたものではありませんか。」

おお、頼みますよ、君たち。マジ？

・・・王は答えた。「取り消しのできないメディアとペルシアの法律がそうであるように、そのことは確かである。」

ーダニエル 6 : 13ー

そこで、彼らは王に告げた。・・・

これを聞いてください。

・・・「王よ。ユダからの捕虜（奴隷）の一人ダニエルは、あなたと、ご署名になった禁令を無視して、日に三度、自分勝手な祈願をしております。」

14 節も痛いです。

ーダニエル 6：14ー

このことを聞いて王は非常に憂い、・・・

言い換えると、「彼らは私をハメた。」王は彼らに非常に腹を立てましたが、それ以上に、彼らにそうさせた自分自身に怒りました。王は非常に憂いました。よく聞いてください。

・・・ダニエルを救おうと気遣った。そして彼を助け出そうと、日没まで手を尽くした。

王は、日没まで法律の抜け穴を探し、どうにかしてダニエルを獅子の穴から王は守ろうと心に決めていました。王は自分が騙され、信じ込まされ、引っ掛けられたことを知りました。嫌悪しました。この自己嫌悪、自分自身への不愉快さは非常に大きく、王は何かを思いつくあらゆることをしたり、止めようとしてしました。そのために日没まで手を尽くしました。もっと面白くなりますよ。15節、

ーダニエル 6：15ー

そのとき、あの者たちが王のもとに押しかけて来て、王に言った。王よ。王が制定したいかなる禁令や法令も、・・・

(法律ですよ！！！！) そう、彼らはそんな風に言いましたよ。強調効果追加。

・・・決して変更されることはないということが、メディアとペルシアの法律であることをご承知ください。」

言い換えれば、「残念。諦めて下さい。法律を変えることはできないし、法律の抜け穴を見つけることもできません。あなたがしようとしていることは分かっています。あなたがダニエルを寵愛しているのは知っています。あなたはこの男を寵愛し、この男を我々の上に置きたがっている。我々があなたを出し抜いたから、あなたは我々を出し抜く方法を考えようとしているんでしょうね。」

そう、私なら、、、いや、私ならどうするかは言いません。想像力を働かせてください。でも想像しすぎないようにね。神に最終決定権があられるのですよ。待ちきれません、その箇所が。で、ほとんどこんな感じで彼らは言っています。「さあ、王よ、ショーを始めましょうよ。どうしてそんなに時間をかけるのですか？何を躊躇っているのですか？ 王よ、なぜ、何とかこの状態から抜け出せるかを考え続けるのですか？ あなたはこれをしなければならぬ。法律なんだから！！」

ーダニエル 6：16ー

それで王は命令を出し、ダニエルは連れて来られて、獅子の穴に投げ込まれた。・・・

でも、これは考えられないことです。この王がすることは、当時では考えられないことです。現代の中東でも、これはありえません。これは理解しがたいこと。しかし、王はダニエルに話しかけた。待つて、王がダニエルに、獅子の巣穴に投げ込まれることで、基本的に死刑宣告された者に話しかけるの？ 王が発することに耳を傾けて下さい。まず、王がダニエルに話しかけた事実は、これらの大臣や太守たちは内心激怒して、ダニエルを獅子の巣穴に入れたがっています。王はダニエルと話したがっています。

・・・王はダニエルに話しかけて言った。

(ええ、私はこれが大好きです。)
「おまえがいつも仕えている神が、おまえをお救いになるように。」興味深い詳細です。「神が、お前をお救いになるように。」ほ～「そうでしょ？」そうでしょ、は書いていませんけど、その言い方が全てを物語っています。王はどのように話しかけたのか。何に重点を置いていたのか。思うに、発言しても、それが質問になってしまうことがあるでしょ。例えば、「おまえがいつも仕え(続け)ている神が、おまえをお救いになる？」という疑問文なのか？ あるいはたぶん、こうでした。「おまえがいつも仕え(続け)ている神が、おまえをお救いになる。」なぜなら私には救えないから。たぶんその両方です。たぶん、そのすべてだと思います。では、この大臣たちは刻一刻と焦りを募らせています。17節、

ーダニエル 6：17ー

一つの石が運ばれて来て、その穴の口に置かれた。王は王自身の印と貴族たちの印でそれを封印し、ダニエルについての処置が変えられないようにした。

法律なんだからなっ!!! 命令に従え!!! で、

ーダニエル 6 : 18ー

こうして王は宮殿に帰り、一晩中断食をした。・・・

何ですって? ちょっと待って下さい。まず、こう発して、「おまえがいつも仕え(続け)ている神が、おまえをお救いになるように。」私は信仰によって神を信じている。ダニエルよ、私はあなたの神に信頼を置いている。そして、私は断食をして、神があなたを救ってくれるよう祈る。今夜はすべてキャンセルだ。毎晩、音楽隊やオーケストラを呼んで、飲み食いの宴会をしていたけれど。」王の前に音楽隊は、一人も連れて来られなかった。

・・・側女も召し寄せず、眠ることもしなかった。

ある人は、ダニエルは獅子の巣穴の中で、宮殿で眠ったよりもよく眠れた可能性が高いと指摘しました。それは必ずしも誇張表現ではありません。改めて、神の御言葉にこのような詳細がある場合、そこには理由があるからです。神は、聖霊によって、王が眠れなかったというこの詳細を含める必要があると考えられた。

「どうやって眠れるというのか。」王は徹夜で断食をした。音楽隊は、楽器の準備万端なのに、宴会はなし、キャンセル。「帰れ、帰りなさい。王はあなたに会いたくない。王はそんな気分じゃない。」王は、ダニエルのことをとても心配しています。王は、一晩中眠らず、断食をした。そして19節、

ーダニエル 6 : 19ー

王は夜明けに日が輝き出すと”すぐ”、獅子の穴へ”急いで”行った。

これも考えられないことです。私は、放蕩息子と呼ばれる話のたとえを思い出します。(ルカ 15 : 11 ~)

本当は父親についてが重要なのです。父親が遠くから息子の帰りを待ち、見守っているから。そして、息子が帰ってくるのを見ると、、、息子は、自分の遺産を奪って、それをすべて宴会で使い果たし、浪費しました。そして家に帰りたくなり、父親の使用人として働くことを望んだ。彼は豚小屋を掃除しようと。ユダヤ人の少年にとって禁じられている汚れた動物の。彼はどん底のどん底まで落ち、戻ってきます。父親はどこにいるのか? 彼は車道にいます。私は現代用語を取り入れようとしています。当時、父親たちはロープをまとい、こう言われています。また別の詳細です。その父親は、息子の帰ってくるのを見つけると、ロープをたくしあげて、息子に駆け寄った。中東では決して見られません。中東では決して見られない光景です。「おい! こっちに来い!! お前は一族の遺産を無駄にした。お前は、そう、終わりだ。よくも帰ってこられたものだ。出て行くなら、もう戻ってくるなど言ったはずだ。」それが違います。

「肥えた牛を屠りなさい。祝宴だ。息子が帰ってきたのだから。」(ルカ 15 : 23 ~ 24 参照)

父親は息子に駆け寄りました。天におられる私たちの父を本当に表します。私たちが戻ってくるのを待ち、御父もとに戻るのを見守っておられます。神は私たちに怒っておられません。神は私たちが叩かれませんが。いいえ、神は、私たちのために祝宴を開いてくださいます。なぜか? それが私たちの家だから。神は、私たちをとても愛しておられるから。この王は、電気椅子の死刑場所に駆け込みます。獅子の巣穴に。王は一晩中眠らず、どれくらい早朝だったのか分かりませんが、太陽が昇り始めると即、王は、走り出したと私は思います。

ーダニエル 6 : 20ー

その穴に近づくと、王はダニエルに”悲痛な声で”呼びかけ、・・・

泣き叫んだ。その声の様子という、読むと見逃しますが、聖書のページに書かれている御言葉が、アプリ

なら、、現代的にしますけど、“悲痛な声で”王はダニエルに泣き叫んだ。「ダニエルよ～～！！」

・・・こうダニエルに言った。「生ける神のしもべダニエルよ。おまえがいつも仕えている（生ける）神は、・・・

あの大臣たちは見ていたと思います。「なんということか。王よ、あなたは何をしているのですか？恥ずかしい。あなたは私たちに恥をかかせています。獅子の巣穴に放り込まれた男を確認するためその巣穴に駆け込む王はいません！ あなたがそれを封印したのですよ。法律だから！！ 誰がそれをするもんですか？」
「そう、私がするのだ。」で、王は泣き叫び

・・・「生ける神のしもべダニエルよ。おまえがいつも仕えている神は、おまえを獅子から救うことができたか。」

獅子、獅子、獅子、獅子、.....強調効果追加。王は、ダニエルの声を固唾を呑んで待ちます。完全に諦めながら、誰が生き延びれるのかと。

ーダニエル 6：21ー

するとダニエルは王に語った。（わお！）「王よ、永遠に生きられますように。」

この王の短い治世の中で、『王よ、永遠に生きられますように』と全ての大臣が習慣で言ったと、言わせていただきます。この時、ダニエルが王に言ったときほど、この王にとって意味のある言葉はありません。ダニエルはまだ獅子の巣穴にいるんですよ。私はラクダか何かの上のハエになって、それを聞いた他の大臣や太守たちの顔を見たかったです。「え？え？え？ダニエルは無事なのか？生きています？ダニエルは、、彼の声を知っている。彼は今言った”王よ、永遠に生きられますように”と。」さあ、ダニエルは、何が起こったのかを説明しますよ。22 節、神がこうしてくださるのが大好きです。神がこれをなさいました。

ーダニエル 6：22ー

私の神が御使いを送り、獅子の口をふさいでくださったので、獅子は私に何の危害も加えませんでした。・・・

その理由は、

・・・それは、神の前に私が潔白であることが認められたからです。王よ、あなたに対しても、私は何も悪いことはしていません。」

さあ、想像してみてください。これは控えめな表現です。

ーダニエル 6：23ー

王は大いに喜び、ダニエルをその穴から引き上げるように命じた。・・・

王はどんな風に言ったのでしょうかね。「すぐにダニエルを出せ。即だ！！！」やりすぎでした？

・・・ダニエルは穴から引き上げられたが、・・・燃える炉の友人3人の記述を思い出しますね。

（ダニエル3章）

・・・彼に何の傷も認められなかった。彼が神に信頼していたからである。

おお、決して過小評価してはいけません。不信仰と対照的な信仰信念。ダニエルは神を信じました。彼は自分の命を神の手に委ねました。「神よ、これが終わり、これが終わり方なら、私にはいずれも勝利です。つまり、これを生き延びてあなたに仕えるか、生き延びずにあなたと共にいるか、どちらかです。ですから、どちらにしても勝利です。」先に進んで終わりにする前に皆さんに知っておいてほしいことがあります。大変重要です。というのも、ダニエルには彼の3人の友人同様何も起こらなかったと語られています。煙の匂いさえしなかった。7 倍燃え盛る炉にいたら、パーベキューの臭いがします。彼はそこに入っていなかったかのように出てきました。そしてこれは、ダニエルが何らかの傷を負っていないかどうかを確認するため

ある種の検査をせねばならなかったことも前提としています。獅子たちが最低でも、君を食べようとはしなかったのか？ 噛まれた跡はないのか？ その大臣たちの一人が、噛まれた跡がないか確認したと思います。そう、「彼に何の傷も認められなかった。ダニエルは、我々が投げ込む前よりも良くなっているように見える。非常に良い睡眠を取ったようにも見える。」では、私がここで指摘したいこと、どうか、見逃さないでください。神が遣わされたこの御使いが、獅子の口を塞がれたという詳細。なぜそれが重要なのか？ その理由は、それが暗示するのは、獅子たちは非常に飢えていたこと。今からすぐに分かりますが。獅子たちは、ダニエルを食べただろうし、完全に食べ尽くしたでしょう。しかし、神は、獅子の口を塞がれ、獅子たちにはできなかった。だから、今夜の聖書の学びのおもな教訓としてこのタイトルを選んだのです。

私たちの敵が、吼えただけ獅子のように、(1ペテロ 5:8)

人を食べる獅子は、獲物をつけ狙い、研究しています。非常に忍耐強いです。彼らは私たちを見ていて、待っている。何年も前にヴァル・キルマー主演で映画化されたことがありますね。アフリカでの実話です。人食い獅子(ライオン)は、誰かが群れから抜けるのを待っている。その最適なタイミングが来るまで、獅子たちは非常に忍耐強い。そして襲いかかり、捕食し、むさぼり食う。だから、私たちの敵のサタンは、私たちを食い尽くそうとする獅子に例えられています。神が獅子の口を塞いでくださらないと、獅子が襲えなくなります。「神が、おまえをお救いになるように。」ダレイオス王に聞いて下さい。神はどのように救われるのか？ 神は、お前を救われるだけでなく、どうやって救われるのか。あなたが想像もしなかったような方法で。なぜなら、神のご方法は私たちの方法よりもはるかに高く、私たちの理解を超越します。(イザヤ 55:8-9 参照)

ほら、私が神ならするのは、御使いを送って、獅子にこう言わせたでしょう。「満腹でもう一口も食べられない。パイならもう一口食べれるけど、その後、もう無理。ダニエルは、そう、美味しそうだけど、もう満腹です。」私ならそうしますね。しかし、神のご方法は、私の方法ではあられません。そういうのが私の方法です。でも、神のご方法は違います。超自然的な領域で、奇跡的に、獅子の口を奪い、塞がれる。唸ることも吼えることもできない。彼らは飢えています。彼らは一日中何も食べていません。そう、今や一晩中。それは説明可能でしょ。超自然的な領域では、説明がつくでしょ？「で、ダニエルは獅子の巣穴から生き延びた。我々は、やり直しが必要なかもしれない。どうやら獅子たちは、タコ・ベルのドライブスルーを8回通って満腹になったに違いないから。」いいえ、このことが語るのは、神の奇跡的な守りの御手の領域以外では、これを説明できません。獅子の口を塞いで、ダニエルを救い出すことは。聞いてください。私たちは血肉と格闘しているのではありません。敵は敵です。大音量で音楽をかけるあなたの隣人ではありません。色々やって、彼らはあなたを捕えるためにわざとやる。彼らはいつもあなたが駐車している場所に停める。彼らは敵ではありません。しかし、神は。彼らの口を塞ぐことがお出来になります。そして、詩篇 37 篇(6 節)の通り、あなたの義を真昼の太陽のように輝かせられる。あなたの純真さ、義は必ず果たされます。あなたは濡れ衣を着せられ、死刑を宣告された。で、神が直接ご介入された。私は、「詩篇 37 篇」が大好きです。多分今夜の誰かのためです。神の御言葉に触れる時間に、「詩篇 37 篇」を読んでください。とても励みになるでしょう。ダビデは書いています。「腹を立てるな。悪の繁栄に怒るな。」彼らは今日ここにいて、明日いなくなるのだから。このまま逃げ切れるように思えるけれど、つまり、あの大臣たちは、逃げ切れるように見えます。いえいえいえいえ。「彼らは逃げ切れない。わたしに最終決定権があります。見ていなさい。」主を待ち望め。怒ってはいけません。自分の手で問題を解決しようとしなさい。 (JD: 挙手) 神の手助けをしたいから。「神様、これは私が、私がやります。」そしてさらに大きな混乱を招き、事態を悪化させる。今や、神は、口をふさいで私たちを救い出さねばならないさらに大勢の獅子を得ます。なので、神の私たちへの約束は、『主はあなたの義を光のようにあなたの正しさを真昼のように輝かされる。』ことです。(詩篇 37:6)

しかし、私たちは主がそうしてくださるのを待たなければなりません。ダニエルは何をしたのでしょうか。もし彼がぐっすり眠れたのなら、私たちはただ神に感謝ですね。だって神はそうなさるから。彼は神に、「私を獅子から救い出してください」とすら求めません。彼はおそらく、「神様、ありがとうございます。」つまり、「これらの獅子たちは寝心地のいい枕です。」さて、24 節、これが大好きなんです。これは言わせてください。もうすぐ終わるから。

ーダニエル 6:24ー

王が命じたので、ダニエルを中傷した者たちが連れて来られて、その妻子とともに獅子の穴に投げ込まれた。・・・

ちょっと待ってください。「エステル記」で、ハマンはモルデカイのために柱を建てましたね？（エステル 5：14）

吊るされたロープなどと思わないでください。いいえ、これらは鋭いもので、何フィートの高さだったか忘れましたが、それらは、ゆっくりと過酷で苦痛に満ちた死をもたらすために、人を突き刺すものだったのです。そして、ハマンがモルデカイを突き刺すためにこれらの柱を作ったのです。そして誰が柱に突き刺さると思います？ ハマン。そしてその息子たち。そして悲しいことに、私たちはこれを目の当たりにしています。彼らだけでなく、彼らの子供たちや妻たちも。神の御言葉の中にこのように書かれていても、それが神の御思いであるとか、神のご方法であるとは決して思わないでください。これは彼らのやり方、異教徒のやり方です。

『子は父の咎について負い目がない。』（エゼキエル 18：20）

しかし、これが彼らのしたことです。なんて悲しいことでしょう。さて、ここからがちょっと生々しくなります。

（一ダニエル 6：24一）・・・彼らが穴の底に達しないうちに、獅子は彼らをわがものにして、その骨をことごとくかみ砕いてしまった。

私は心に刻んでと言おうとしましたが、でも実は、刻まないでください。わお。そして、私は、彼にこうしてほしくなかったのですが、しかし、25節には、ダレイオス王がこう記したとあります。

一ダニエル 6：25一

それから、ダレイオス王は、全土に住むすべての民族、国民、言語の者たちに次のように書き送った。

「あなたがたに平安が豊かにあるように。これを以前異教徒の王から聞いたことがありますね。

一ダニエル 6：26一

私はここに命じる。私の支配する国においてはどこでも、ダニエルの神の前に震えおののけ。この方こそ生ける神、永遠におられる方。その国は滅びることなく、その主権はいつまでも続く。

一ダニエル 6：27一

この方は人を救い、助け出し、天においても、地においても、しるしと奇跡を行われる。・・・

これがメディア人の王ですよ。メド・ペルシャの王、異教徒の王です。いったい誰が、クリスチャンたちでさえ、このように神を称えると思ったでしょうか。

・・・天においても、地においても、しるしと奇跡を行われる。実に、獅子の手からダニエルを救い出された。」

一ダニエル 6：28一（最後の節）

このダニエルは、ダレイオスの治世とペルシア人キュロスの治世に栄えた。

ペルシャ王キュロスがメディア王ダレイオスの後を継ぐ。終わり。今夜の私たちの教訓は何か？ あなたは今、獅子の巣窟にいますか？ 神はあなたを救ってくださいます。神は獅子たちの口を封じるでしょう。あなたの人生で、誰かがあなたに対して辛く当たっていますか？ だめです。

『復讐と報復はわたしのもの』（申命記 32：35）と主は仰せられます。主を待ち望んでください。悪人が悪のやり方で栄え、自分たちのすることからうまく逃れているように見えても、気にしてはいけません。あなたの悪口を言い、ソーシャルメディアにあなたのことを書き込んでも、怒らないで、くよくよしなでください。ただ待つ。ところで、神に知らせる必要はないですよ。神すでに知っておられます。全知の

神であります。だから、時間を無駄にしないでくださいね。「ああ、神様、私の新着情報に私について投稿されたのを見ました？ 彼らは私の悪口を言ってます。」「ええ、わたしは何でも知っています。」想像できますか？ あなたが祈るとき、「ああ主よ、火曜日に何があったかご存知ですか？」そして、神はこう答えられる。「いや、何？見逃した？何があったの？」そうなら、どれほど狼狽させられますか？いや、神は全知、神は知っておられ、彼らがそれを投稿しようとしていたことを、そうする前からご存じです。しかし、神があなたに望んでおられるのは、あなたの代わりに、神がそれをなさることです。あなたのために。そしてあなたは、ただ神がそうなさるのを待つ。主を待ち望む。ただ待つのです。今にわかります。子供の頃、そう聞いたのを覚えています。何度も聞きました。待てばわかる。忍耐強い私は、ただ待っていたことでしょうか。いいえ、私は待ちません。待つのはいやです。知りたい。「いや、待って。今にわかるから。」いや、知りたいし、待ちたくない。待つのは嫌いです。「いや、ただ待ちなさい。今に分かるから。」主は仰せられます。「待ちなさい。今にわかります。なぜなら、わたしがしようとしていることは、あなたが考えることよりもずっと素晴らしいものになるからです。ほら、あなたは違うことをしただろうけど、わたしがすることは、もっとずっとすごくて、というのも、わたしは、、、」今、獅子たちは本当に飢えています。獅子たちがあなたを食べないように、神が遣わされた御使いによってその口を塞がれたから。それはパティ1枚だけのハンバーガーで、獅子たちが食べるのは120品のコース料理。」実は、私の計算が正しければ122です。そして、ああ、家族が追加だから。そんな話を持ち出すべきじゃなかったね。しかし、彼らが地面に激突する前から、獅子たちはあらゆる骨を砕いた。獅子（ライオン）の強さを知ってますよね。ジャングルの王者。理由もなくそう呼ばれているわけではありませんよ。神が最終的な決定権を握っておられます。神はあなたを救い出されます。そうしていただきましょう。神を手助けしようとしなくてください。思い悩まずに。ただ待つ。そう、彼らはあなたを狙っている。敵はあなたに迫っている。しんどい。彼らはあなたを追い込む何かを探している。あなたは不当に非難され、中傷され、責められている。そして肉はただ、あなたの肉にあるすべてが欲するものは、これで終わりです。肉体の中にあるものすべて、肉は、特に、匿名で保護されるソーシャルメディア上の画面の向こう側ではなおさらで、あなたはただ、、わ～！！（キーボードを打つ）あ、すみません、若い人たち、デバイスはこうですね。どうやれば両手の親指は時速100万マイルで、煙がたち、あわわわ、、ああ、そう。（会衆：笑い）勘弁してくださいよ。私、正解でしょ？ そして神は、「ダメです」と仰る。「ええ、でも彼らが私に何をしたら知っていますか？彼らは私を獅子の巣窟に放り込んだんですよ。あなたが獅子の口を閉じてくださらなければ、私は生きていませんでした。彼らは私のソーシャルメディアのアカウントを削除せねばならなかったでしょう。」「わたしは彼らが何をしたらよく知っています。でも、まだわたしが主権者です。あなたではありません。そうしたいのは分かっています。なぜなら、あなたは無類の支配欲の持ち主だから。」話していいですか？ これを言うとき誰とも目を合わせませんから。あなたは自分が誰だか知っていますね。あなたは自分が支配したいと思っています。あなたは結果を自分でコントロールしたい。あなたは発言権を持ちたい。仕返しをしたい。目には目を、歯には歯を、ですね。（出エジプト 21：24参照）

このユダヤの掟は本当に誤解されています。目には目を、歯には歯をという理由は、もし誰かに目をつぶされたら、私たちは両目をつぶしたいと思うからです。もし誰かが私たちの歯を1本でも抜いたら、私たちは彼らを総入れ歯にしたい。私たちは彼らの歯をすべていただく。ただ仕返しをするだけではありません。私たちは一歩先を行きたい。「おお、そう来る？」いえ、神にお任せしてください。神が引き受けてくださいます。神がそうなされた時、そのために神をほめたたえ感謝するだけでなく、その方法についても、あなたは畏敬の念を抱きます。神に任せてください。3つのこと...終わったと言ったけど、もう本当におしまいです。3つのステップ、3段階のプログラムです。これが私たちの教訓です。

1) 自分には無理だと知る。2) 神はお出来になることを知る。3) 神にしてください。

邪魔をしない。神の妨げにならないで。神を確認し、監視しない。「神様、調子はどうですか？ 進捗状況はどうですか？ 現状報告、最新情報、今後の方針について教えてほしいんですけど。」いいえ、ただ、神がなさろうとしていることを神に委ねてください。神はあなたを救い出してください。神は彼らの口を封じられます。神にしてください。よろしい。カポノ、ここに上がって、私と、長い間座っているこのかけがえのない人たちを救ってくれますか？ ご起立ください。最後に賛美の歌と祈りで締めくくります。

おお、主よ、これは、これは作り話ではありません。文字通り、これはまさしくこの通りに起きました。わお。おお、神よ、今夜私たちは、こう信じてここを去りたいのです。信仰、確信、あなたが私たちのためにおられるなら、誰が私たちに敵対できるでしょう。そして、私たちに対して、企てられ、作られたいかなる武器や陰謀も、決して役立たず、成功しません。(イザヤ 54 : 17 参照)

主よ、私たちはそのことを思い起こす必要があります。そして、ダニエル書 6 章で、必要なことを思い出させてくださり、ありがとうございます。この出来事を記録なされ、何世代も経った私たちのために聖書の正典に載せてくださりありがとうございます。読んで頭に入れ、心に刻み、持ち帰ることができ、聖霊により、それが私たちがすることだからです。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7